



## 重大事故へ向かう 北海道泊原発

岩内町議会議員 佐藤英行

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により北海道全体がブラックアウトとなった。北海道電力泊原子力発電所は外部電力喪失となり、非常用ディーゼル発電機が作動した。そのうち3号機における非常用発電機の端子が2009年から外れているのが発覚した。実は2007年、2009年にも非常用発電機のトラブルを起こしていた。

また、大気中に放出する排ガスに含まれる放射性物質の量を1号機の試運転から31年間も過少報告していた。トリチウム、ヨウ素、キセノンやクリプトンなどの希ガス、セシウムやストロンチウムなどの放出量を過少報告していたのだ。これは規制委員会が2020年から始める新たな検査制度を試行する中で、放射線管理の専門家が北電のミスを指摘し発覚した。識者は、「放射性物質の正確な放出量を把握しないまま原発を稼働していたという恐ろしい話。北電は危険な物質を排出しているという認識に欠けている」と述べ、規制委員会の更田委員長でさえも「驚くほどの基本的なミス」と批判している。

その他に冬季に、1、2号機給排水処理建屋内の消火加圧ポンプが凍結し損傷して使用不能となっていたり、原子力規制庁へ緊急時対策支援システムに送るべきデータを送っていなかった等々。一つの重大事故の陰に29の軽微な事故があり、その背後には300の異常が存在すると言われている。度重なる北電の失態は、原発を運転してはいけないシグナルであり、大事故を起こす前に北電は即刻泊原発の廃炉を決めるべきだ。

## 川内原発運転延長阻止 3号機増設反対 7月県知事選に全国からご支援を

鹿児島市議会議員 野口英一郎

6月8日に、鹿児島県知事選挙に立候補を予定している横山富美子さん(73)の記者会見が行われました。横山さんは宮崎県生まれ、九州大学医学部卒業後、医師として国立療養所霧島病院や鹿児島大学病院に勤務し、1995年に霧島市で内科医院を開業。2011年夏に、原発事故の健康影響を調べるために東北地方で無料検診を開始。2015年にNPO法人を設立し、東北と鹿児島の検診結果を年齢別・原発からの距離別に分けて比較検証。福島県の甲状腺調査との比較に力を入れてきました。選挙戦のスタートは6月25日、投開票は7月12日。

候補者は、再選を目指し自民党県議団に推されている現職の三反園訓さん(62)、前知事の伊藤祐一郎さん(72)、新人で元鹿児島大学特任助教の有川博幸さん(61)、新人で前九州経済産業局長の塩田康一さん(54)、市民運動などが一度出馬を要請し断られた青木隆子さん(57)が横山さんの出馬表明後に立候補を表明、元教師で新人の武田信弘さん、6月22日段階で元岩手大学教授の八木一正さん(70)が立候補を断念し、計7名となりました。

原発推進派も反対派も乱立状況になりました。横山さんの出馬の決意には、「これ以上の核汚染を止めて、放射線被害を避けましょう。エネルギー供給という利益がたとえどんなに大きくても、原子力発電の不利益は大きすぎます。」とあり、その姿勢は信頼できます。厳しい闘いになりましたが、原発を無くすために、全国の皆さんの力を貸して下さい。

## 原発やめようニュース 反原発自治体議員・市民連盟

NO. 35 2020年7月

## 新型コロナ状況下の原発の運転と再稼働を止めよう

### 原発の再稼働は要らない

新型コロナの感染拡大状況に、「三密」状態で原発を運転していた電力会社の社員や原発作業員に新型コロナ感染が拡大しました。

連盟は、9電力会社と日本原電に対し新型コロナ感染源になっている原発の運転と再稼働準備工事を直ちに止めるよう要請書を提出。第二波、第三波の感染拡大の恐れがある今、全国の自治体議員の連名で、国・原子力規制委員会や立地自治体・議会への陳情・請願を行います。ご協力とご賛同をお願いします。

### 原発の稼働停止に続き 全原発の停止を

「特定重大事故等対処施設(通称テロ対処施設)」が5年間の猶予期間内に造れず、川内原発1号機が3月に、2号機が5月に停止しました。同じ理由で、高浜原発3号機が8月に、4号機が10月に停止します。すでに伊方原発3号機は広島高裁の判決で停止中。定期検査のため、大飯原発3号機(5月予定がコロナで延期し10月以降)と4号機(10月)、玄海原発3号機(9月)、4号機(12月)が停止します。日本科学者会議は、コロナ状況下で「原発災害時の屋内退避と被ばく防止の両立は困難」とし「収束まで運転停止を」求めています。この機に、すべての原発の停止を実現しましょう。

### 五輪延期を機に、福島の被害を伝えよう

安倍首相が「復興五輪」と称して、福島原発事故の収束を描こうとしたねらいは、新型コロナの感染拡大で破たんしました。また「原子力緊急事態宣言」は解除できず、福島

### 反原発自治体議員・市民連盟

共同代表 佐藤英行(岩内町議会議員)  
福土敬子(元東京都議会議員)  
武笠紀子(元松戸市議会議員)  
野口英一郎(鹿児島市議会議員)

〒168-0072  
東京都杉並区高井戸東3-36-14-301  
TEL/FAX 03-5936-0311

第一原発も未だ廃炉の見通しがたちません。オリンピックが延期され、福島の放射能汚染の実態を明らかにするチャンスです。「福島を忘れない」取り組みを粘り強く継続します。原発事故被害者の現状を無視した支援の打ち切りに抗議し、県内・県外の避難者に寄り添った住宅補償を国や県に強く要望します。

東電に対し、放射能汚染水の海洋放出をやめ、陸上に保管場所を拡大するよう全国からの要望を集中したいと思います。福島県漁連の要請や福島県自治体の「放射能汚染水の海洋放出に反対する決議」に応えましょう。



### 被災原発の再稼働は危険

3・11東日本大震災で被災した原発は、爆発した福島第一原発だけでなく、福島第二原発や宮城県の女川原発と茨城県の東海第二原発も、配線・配管を始め原子炉建屋内外に大きな損傷を受けています。原子力規制委員会は2018年11月に東海第二を、2020年2月に女川に新規規制基準の合格を出しました。一度壊れた原発の危険性を無視しています。

今号では、東海村と女川町から現状報告(3面)をいただきました。茨城県と宮城県の議員・市民の皆さんの活動に協同し、被災し老朽化した原発の再稼働を阻止しましょう。



### 反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック 第4回総会・講演会のご案内

●7月23日(木・休日)14:00~17:00 ●高槻現代劇場文化ホール2F展示室  
資料代:500円 第1部 14:00~14:30総会 第2部 14:30~17:00記念講演  
講師:井戸謙一さん(原発マネーを告発する会代理人)・木原壮林さん(若狭の原発を考える会)

## 老朽原発うごかすな！9月6日大集会に全国から集まろう 二木洋子



関電マネー不正還流を告発する

### 高浜4号機再稼働に対する抗議行動に参加

1月30日、「原発うごかすな！実行委員会 @関西・福井」の呼びかけで、高浜原発、高浜町への緊急抗議行動あり、連盟からは「高浜町議会は元助役の原発マネー還流に関わる職員の実態を調査し、高浜原発の即時停止と廃炉を提案するよう求める」要請書を、高木隆太高槻市議が提出しました。激しい雨の中、東京や四国からも参加、70名による熱気あふれる怒りの抗議行動でした。

昨年1月31日と2月13日に、大阪地検に関電役員12人を計3371人で告発しました。関

西ブロックのメンバーも告発人になっていますが、大阪地検は未だ正式に受理していません。6月9日には新たに2172人で、追加告発も行いました。不正マネー還流の実態解明と関電役員の犯罪を裁くよう、今後も受理を求める申し入れ行動を続けます。

### 老朽原発を動かすな！

関西では、関西電力の高浜1、2号、美浜3号の老朽原発を動かさせない闘いに広範な実行委員会を立ち上げ取り組んできました。ところが5月17日に予定していた「老朽原発うごかすな！大集会inおおさか」はコロナ禍で9月6日（日）に延期となりました。関西ブロックの総会・記念講演会も5月から7月に延期しました（4頁下欄に記載）。これを9月6日の大集会につながる集いにしたいと思いますので、皆さんの参加をお願いします。

## 放射能を垂れ流し自然を破壊する六ヶ所村核燃料再処理工場はSTOP

5月13日規制委員会は、六ヶ所村核燃料再処理工場の合格証をまとめ、パブコメが行われました。高さ150mの巨大な排気筒からは、クリプトンをはじめトリチウム、ヨウ素、炭素などが大気中に放出されます。また六ヶ所村沖合3kmの海洋放出管からはトリチウム、ヨウ素、コバルト、ストロンチウム、セシウム、プルトニウムなど、あらゆる種類の放射能が廃液に混ざって海に捨てられます。国や日本原燃は、これを「大量の空気や海水によって希釈されるので安全」と説明しています。

六ヶ所工場の当初計画では、クリプトンとトリチウムの除去が計画されましたが、多額の費用がかかるため止めて、全量が放出されます。再処理工場は、危険な放射能を垂れ流す最悪の核施設です。ヨーロッパでは、再処理工場周辺にまき散らされたプルトニウムなどの放射能が、鳥や魚、植物、そして人体からも確認されています。また再処理工場で大事

故が起これば、放射能は日本中に広がります。青森の森や海の豊かな自然を放射能で汚す前に、工場の稼働をストップしましょう！

### 福島第一原発汚染水海洋放出に反対する署名を全国から集中ください

「原発のない福島を！県民大集会」実行委員会から、「トリチウム汚染水の海洋放出に反対する署名」が呼びかけられています。

署名を通じて、県民の生業と生活を守り、海洋放出等に反対する県民世論が広がります。全国の自治体議員・市民の声を集め、国・関係省庁に要請をしたいと思います。トリチウム汚染水の海洋放出を撤回させることは、10倍もの汚染水を出す六ヶ所村の再処理工場を止める力になります。全国に拡大しましょう。

- 第1次集約 2020年6月末
- 第2次集約 2020年8月末（最終集約）

## 新型コロナで東海第二原発は？ 阿部功志 東海村議会議員

日本原電は、コロナ禍の中、再稼働のための工事を着々と進めている。2022年12月を終了予定とし、原子力所在地域首長懇談会（以後、首長懇）の6首長と県の下承を得て、工事の5号検査（最終検査）で試運転をする。試運転を認めればもう止めにくい。首長懇は、原電に工事は再稼働に直結しないという確約を申し入れた。

原電は今後、村内の戸別訪問を計画している。工期は遅れるにせよ、推進派は工事が済むまでに「もうここまで来ちゃったんだから」という世論づくりをするだろう。その攻勢に首長懇がどこまで耐えられるか。住民意思の確認方法や時期は未定のままだ。

再稼働の是非を県民に問う県民投票については、5月25日に86,703筆の署名が提出され、大井川知事は6月8日の本会議に条例案を提案した。しかし18日の委員会でも23日の本会議でも否決された。大きな運動だったが、自民党の頑なさを崩せなかった。推進派で東海村選出の下路健次郎県議（自民党）は、住民意思より

議会の決定を優先すると県議会で発言。県も村も再稼働に抵抗のない議員が圧倒的に多い。

広域避難計画は新型コロナ対策を考慮に入れ、3密に配慮して修正しなければならない。そうしなければますます策定の見通しは遠ざかる。策定できなければ住民意思の確認はできないと主張していく、ここが正念場だ。山田村長は、広域避難計画の策定期間は未定としている。実際は94万人の避難は不可能なため、推進派は「避難しなくてよい」、つまり「屋内退避で大丈夫」という宣伝で強引に計画策定を迫ってくるだろう。ここに抗い、難問を次々にぶつけて各自治体に計画を簡単に作らせないようにすることが肝要である。

6月12日の東海村原子力問題調査特別委員会で、私が工事資金やその回収について質問したが、原電はまた回答を避けた。コロナ後の住民説明会でも詰めなければならない。

山田村長の進める「自分ごと化会議」はコロナで先延ばしになっている。原電のペースに乗せられずにじっくり行きたい。

## 女川原発の再稼働を止めよう

阿部美紀子 女川町議会議員

原子力規制委員会は2月、女川原発2号機の新規制基準の合格を認めました。これに先立つ、昨年10月の台風19号では、女川は他地域と通じる道路がすべて冠水、崩落し、空路・海路もちろん使えず、17時間も孤立状態になりました。規制委の判断は、私たち住民、ひと不在のものでしかありませんでした。

3月議会には、2件の再稼働反対の請願と1件の再稼働推進の陳情が出されました。原発対策特別委員会に付託され審議中です。私が紹介議員となった請願は、宮城県北西部の世界遺産ともなっている大崎地域や放射線廃棄物の最終処分場計画のあった田代岳近くの住民からのものです。彼らは、田代岳が県の広域な水源であり下流の石巻・東松山にも被害が及ぶと、こぞって処分場計画に反対した人たちです。

1回目の審議では、「原発が事故を起こしたら私は責任が持てない」と言うと、「それでなぜ議員になろうと思ったのか」とか、中には

「国で決めることだから、我々の議論には何の意味もない。国に反対するなら、美紀ちゃんは憲法も守らないのか」という議員もいます。

審議は、これまでコロナ禍を理由に非公開でした。6月29日に予定の審議は、請願者の発言を含め、人数を制限して公開するようです。

国や県は、「地元同意」と言い、町では、最終的には県・国が決めると言い、責任の押し付け合いです。大規模な避難計画が必要な原発、10万年も管理しなければならない放射性廃棄物、生態系を壊す温排水。子どもたちに安全な未来を渡すよう、原発の再稼働は許されません。



3.11の被災で電源喪失。6千の損傷箇所がある女川原発